

### 3年目の葛藤

第12期OB 北島 大輝

空前の転職ブーム。毎日テレビでは、「ビズリーチ!」「キャリアトレ!」「DODA子にお任せ!」というフレーズを耳にしますね。12期の中にも転職した方が幾人かいます。コア業務であるPSI管理(販売・生産・在庫の管理)にも慣れ始め、どこか仕事がマンネリ化しつつあった私も転職については毎日のように考えていました。しかし、ただ単純に新鮮味を求めて転職をしても仕方がないし、これといって他にやりたいことがあるわけでもない。何とも煮え切らない思いを抱えながら過ごしていました。

そのような状況下で、上司の命令を受け、2つのプロジェクト(統計学的手法を用いた在庫保有率の設定を社内方針として、整合・生産提携先である海外企業の資産償却スキームの構築)に従事することとなりました。コア業務とは異なり、これらプロジェクトは自身でアイデアを出すことが求められ、主体性が非常に問われました。自身のアイデアが徐々に形になり、無事に完結した時、大きな仕事の達成感を覚えることができました。そして現在は、バイセル取引を通じて生産される製品の量産運用プロジェクトに従事しています。具体的には、MPA(Mass Production Agreement)では網羅されていない事態を想定し、それに対するアクションを工場関係者と議論を重ね、量産運用案を顧客へ提示しています。

こうした経験を元に、“仕事はやらされているのではなく、自ら望んでやるもの”、“能動的に動くことで、仕事はいくらでも面白いもの、やり甲斐あるものにできる”ということに気付きました。殻は自分で破っていけば良く、部署で定められるコア業務以外のプロジェクトを自ら作り出してしまえば良いのです。会社として改善すべき点や不明瞭なままの点は多く、これらを処置していくプロジェクトを掲げていくべきだと考えます。上司への遠慮は不要であり、あるべき論で議論し、ベストプラクティスの策定に向けて邁進していくことが大切です。

会社員生活を送る後輩の中には、過去の私と同じように転職を考えている方がいると思います。そしてこの先、転職を考える方が続出するかと思われます。しかし、転職前に、現職でベストを尽くし切ったのか、能動的に働き切ることができたのかについて自問自答し、自分自身を見つめ直して欲しいと思います。



3年目になってから荒井君とのサシ飲みが増えています。